

科目名	介護技術					開講 キャンパス	神 埼
担当者	深 川 友 子						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	基本的な生活支援技術の習得を目指す。演習を通して、要介護者の日常生活における支障について考えることができる授業を展開する。 要介護者の尊厳の保持と自立支援の視点を常に確認する。						
授業の 到達目標	1) 介護技術の意義について説明できる。 2) 自立支援の意味を理解できる。 3) 基本的な介護技術を習得し、エビデンスを述べることができる。 4) 演習の状況を記録し自己評価できる。						
学習方法	講義・実技演習・ビデオ視聴等						
テキスト及 び参考書等	「高校生が学ぶ社会福祉シリーズ 第5巻 社会福祉実習Ⅰ 介護技術の基礎」中央法規						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎		◎	50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	○	◎	○	10		
授業態度		◎	◎	○	10		
受講者の発表	○	○	○	○	10		
授業への参加度			◎		10		
その他						10	
	グループワーク						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	介護技術の意味 (自立支援)・介護場面でのコミュニケーション①						
第2週	介護場面でのコミュニケーション②						
第3週	日常生活の基本動作、ボディメカニクス						
第4週	ベッドメイキング						
第5週	移動の意義と目的						
第6週	移動・移乗の介護						
第7週	身じたくの意義と介護						
第8週	身じたくにおける介護技術						
第9週	排泄の意義と目的						
第10週	排泄における介護技術						
第11週	清潔保持の意義と目的						
第12週	清潔保持における介護技術						
第13週	食事の意義と目的						
第14週	食事における介護技術						
第15週	まとめ (筆記試験を行うとともに介護・介護技術の基本についての確認を行う)						
第16週	実技試験						
備考	実技演習が学習の重要な内容になるため、欠課しないよう健康管理等に注意する。 他者との良好なコミュニケーションが大切である。						